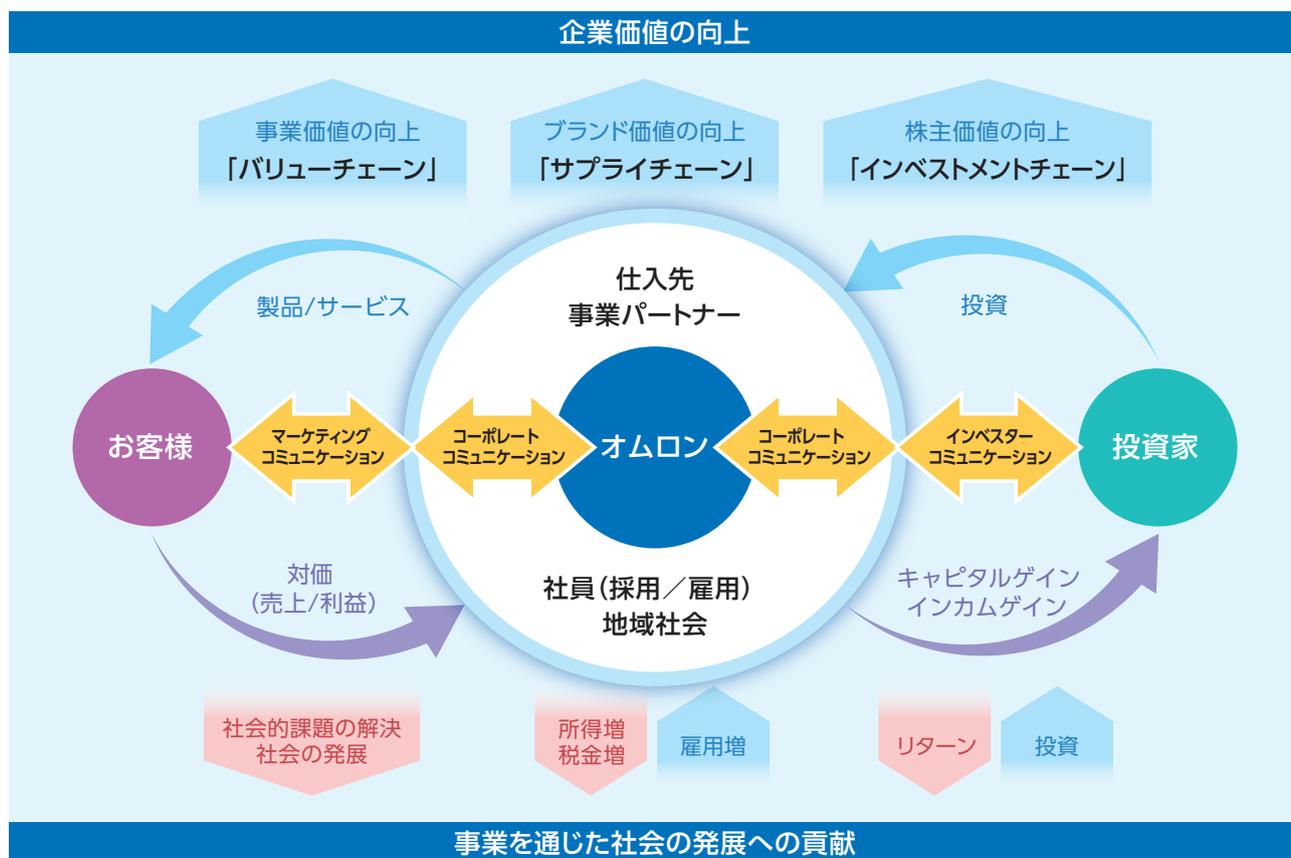


すべてのステークホルダーとの責任ある対話

オムロンは「サステナビリティ方針」の中で、「すべてのステークホルダーと責任ある対話を行い、強固な信頼関係を構築します」と宣言しています。ステークホルダーとの対話を通じた強固な信頼関係は、オムロンの持続的な成長にとって大切な目に見えない資産です。また、私たちがソーシャルニーズの創造をしていくために不可欠な要素です。私たちは、マーケティング、コーポレート、インベスターの各コミュニケーションを駆使して、すべてのステークホルダーとの責任ある対話に取り組み、持続的な企業価値の向上と、事業を通じた社会発展への貢献を行ってまいります。

■ すべてのステークホルダーとの責任ある対話



■ ステークホルダーとの対話例

マーケティングコミュニケーション / お客様との対話

ヘルスケア事業では、家庭血圧の重要性を普及するため、医療関係者や消費者との対話を進めています。2019年度はインドで、医療関係者向けの教育プログラム「オムロンアカデミー」を12か所で開催すると共に、消費者向け血圧測定会を10都市で開催するなど、グローバルに展開しています。今後も各地で、家庭血圧測定の大切さを理解いただき、医療に活用いただくことで、脳・心血管疾患の発症を防ぐ「ゼロイベント」の実現を推進しています。



オムロンアカデミーの様子

コーポレートコミュニケーション / 仕入先との対話

オムロンは毎年、主要な仕入先の責任者を対象にグローバル・パートナー・カンファレンスを開催し、オムロンの経営方針・事業戦略・購買方針・サステナブル調達の取り組み方針等を共有しています。2019年5月のカンファレンスには、仕入先110社が参加し、サステナブル調達の取り組みが順調に進んでいることを提示し、サプライチェーンを通じた持続可能な社会の実現に向けてオムロンと共に引き続き取り組んでいくことを改めてお願いしました。



グローバル・パートナー・カンファレンス
(2019年5月)

コーポレートコミュニケーション / 事業パートナーとの対話

オムロンでは、事業パートナーとの共創による事業創出にチャレンジしています。制御機器事業は、工場などの製造現場における第5世代移動通信方式(5G)を活用した共同実証実験をNTTドコモ、ノキア、オムロンの3社で進めています。5Gの有用性と可能性を共同で評価し、製造業が直面する課題の解決と、将来の製造現場で求められる通信技術の発展を目指します。



3社による共同実証実験発表
(2019年9月)

コーポレートコミュニケーション / 社員との対話

オムロンでは、2016年より経営が社員の声を直接聴き、経営課題を特定し解決に向けてアクションを起こすことを目的としたグローバル社員エンゲージメントサーベイ[VOICE]を実施しています。2019年度は、2018年度の調査で社員から要望のあった人事異動の応募制度を導入しました。応募制度とは、求人がなくても、チャレンジしたい部門に対して、自らを売り込み、異動する仕組みです。これからも社員の声を反映することで、社員が活躍できる企業づくりを進めていきます。



社員にVOICEへの回答を呼びかけるポスター

コーポレートコミュニケーション / 地域社会との対話

オムロンは、地域特有の社会的課題の解決に取り組んでいます。社会システム事業は、熊本県宇城市と地域課題を新たな技術で解決するSociety5.0の社会を相互に連携協力して取り組むための包括連携協定を2020年3月に締結しました。防災センサーへのIoTを活用した管理システムの導入や公共施設への再生可能エネルギーマネジメントシステムの導入を通じて、持続可能な街づくりに貢献していきます。



宇城市との包括連携協定の締結
(2020年3月)

インベスターコミュニケーション / 投資家との対話

オムロンは、株主・投資家の皆様との対話を通じた企業価値の向上に取り組んでいます。2019年度は、第82期定時株主総会をはじめ、第3回目となるESG説明会を開催しました。ESG説明会では、オムロンの事業や企業理念経営を軸とした人財に関する取り組み、気候変動に関する取り組み、ガバナンス体制についての説明を行い、参加した株主・投資家の皆様から多くのご質問、ご意見をいただきました。また、2019年度は機関投資家の皆様との面談を延べ680回実施しました。皆様との対話から得られた知見は、経営の取り組み改善にもつながっています。



第82期 定時株主総会
(2019年6月18日)



2019年度 ESG説明会
(2020年2月17日)